令和５年度 久留倍官衙遺跡まつり　国史跡 夏見廃寺跡連携ＸＲ企画

ゆかりの地をつなぐ
～四日市・名張～

くるべ古代歴史館と
名張市の国史跡夏見廃寺跡が
つながります！

ＸＲとは？

体験者の見ている映像が
モニターに映し出されます

見えました！
隣の塔も見せてください

わかりました！
移動します

※イメージ

現実の物理空間と仮想空間を融合させて、現実では知覚できない疑似体験を提供する空間を作り出す技術です。

今回は、名張市夏見廃寺跡の国史跡公園の測量（３Ｄスキャン)成果とBIM（設計ツール)によって復元された仮想空間であるデジタルツイン（デジタルによる複製)について、ＡＲ(拡張現実)とＶＲ(仮想現実)をつなぐことによって、くるべ古代歴史館にいながら、夏見廃寺跡を紹介します。

※BIM: Building Information Modeling
ＡＲ(拡張現実：Augmented Reality)
ＶＲ(仮想現実：Vutual Reality)

ゆかりの地をつなぐ

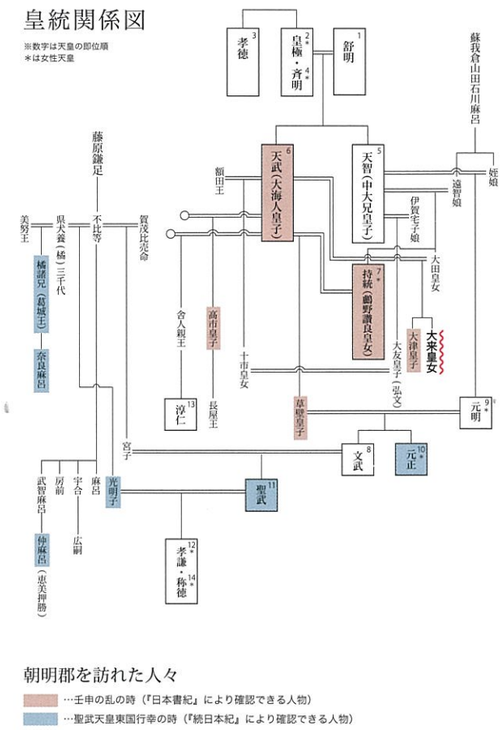
1. 壬申の乱

古代史上の名張

飛鳥に都があった飛鳥時代、『日本書紀』によると、「凡そ畿内は名墾（名張）の横河（名張川）より以来」とされており、畿内（現在の首都圏）から東国へ通じる道である東海道沿いの玄関口に相当していた場所が伊賀の名張でした。

天武天皇元（672）年の壬申の乱の際には、吉野を出発した大海人皇子（後の天武天皇）一行が、6月24日の夜半に隠郡（名張郡）に至り、隠駅家（当時は馬を乗り物として用いていたので、うまやと呼んだ）を燃やし、「横河」で占いをした記載があります。出発し初日を終えた壬申の乱ゆかりの地が、東国への玄関口の伊賀でした。

また、翌日には三重郡家（現在の四日市市南部）まで達し、朝を迎える象徴的な場所として朝明郡（現在の四日市市北部）が記載されています。



朝明郡を訪れた人々

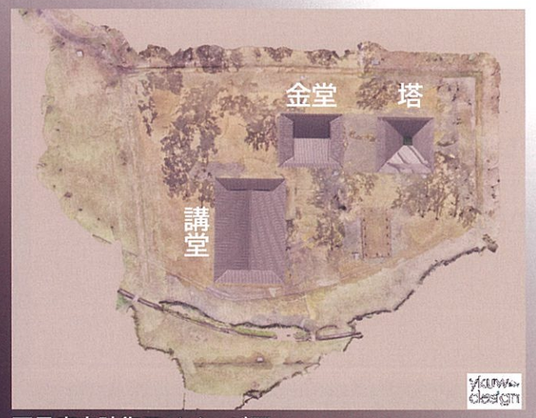
…壬申の乱の時（『日本書紀』により確認できる人物）

…聖武天皇東国行幸の時（『続日本紀』により確認できる人物）

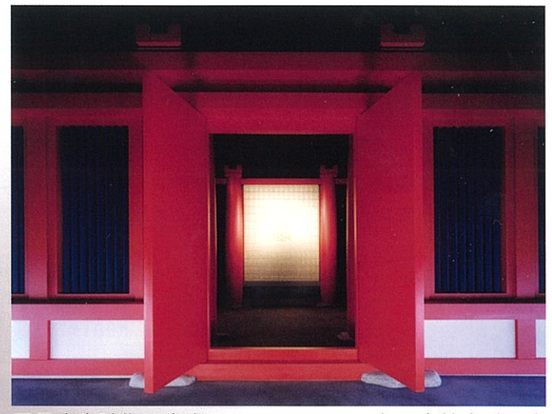
夏見廃寺跡と塼仏

夏見廃寺跡は、平成２年に国史跡に指定された、名張川北岸の丘陵の南斜面に立地する古代の寺院跡です。発見された瓦や塼仏などから、飛鳥時代後半から奈良時代（７世紀末から８世紀前半）に建立され、平安時代（10 世紀末ごろ）に焼失したと考えられています。

斜面にそって、東西北の三面が築地塀で囲まれた空間に、東側に塔・西側に金堂・南西部に講堂が変則的に配置されており、南には掘立柱列が確認されています。



夏見廃寺跡復元イメージ図（株式会社桑山瓦）に文字を加筆



夏見廃寺跡復元金堂　名張市教育委員会

なかでも、金堂建物は、礎石の配置から奈良県桜井市の特別史跡山田寺跡と同じ特異な建物で、大小多数の塼仏（仏像を型押しで作り出したタイル状の焼き物）が出土しており、壁面を飾り立てていたことが知られます。また、塼仏のなかには甲午（694）年の紀年もみられます。

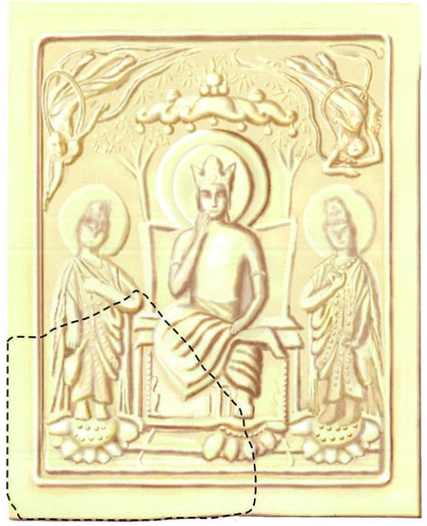
これらの点から金堂の建立は、飛鳥時代後半にさかのぼることが分かります。

また、塔と講堂は出土した瓦から、奈良時代に建立していることが知られます。

一方で、平安時代の長和４（1015）年頃に書かれた『薬師寺縁起』によると、天武天皇の皇女である大来皇女※が神亀２（725）年に天武天皇の供養のために名張郡の夏見に「昌福寺」を建立したとされており、この昌福寺が夏見廃寺と考えられています。

さて、飛鳥時代の寺院は四日市市内にもありました。智積廃寺は、三重郡では唯一の飛鳥時代の寺院です。南北方向に、金堂、講堂、僧坊と考えられる建物が並んで見つかっており、瓦のほかに、塼仏が出土しています。塼仏は２点出土しているのみですので、夏見廃寺跡のように建物の壁面を装飾するように用いられていたのではなく、御墓山窯跡群出土の宮殿形陶製品のような仏殿に納められていたとする説があります。

※大来皇女は天武天皇の娘で、実在する斎王とされている人物



三尊塼仏復元イメージ図

智積廃寺跡から
出土した三尊塼仏

智積廃寺跡から
出土した独尊塼仏

御墓山窯跡群宮殿形陶製品　伊賀市教育委員会

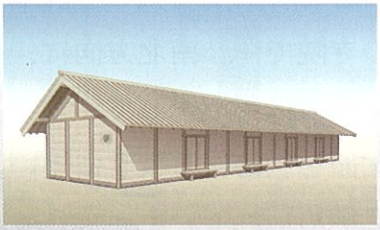
2. 聖武天皇の東国行幸

久留倍官衙遺跡と名張・薦生遺跡の建物

和銅３（710）年に平城京へと遷都されると、翌年、東国へ向かう東海道は都から北上し、木津川沿いに伊賀市北部を抜けるルートに変更されました。しかし、天平 12（740）年の聖武天皇の東国行幸の際や、平安時代に斎王が伊勢斎宮から都へと戻る帰還ルートは、平城京から南下して都祁山道、名張郡を経由し、伊賀国阿保から伊勢国河口へと抜ける経路が採られていました。

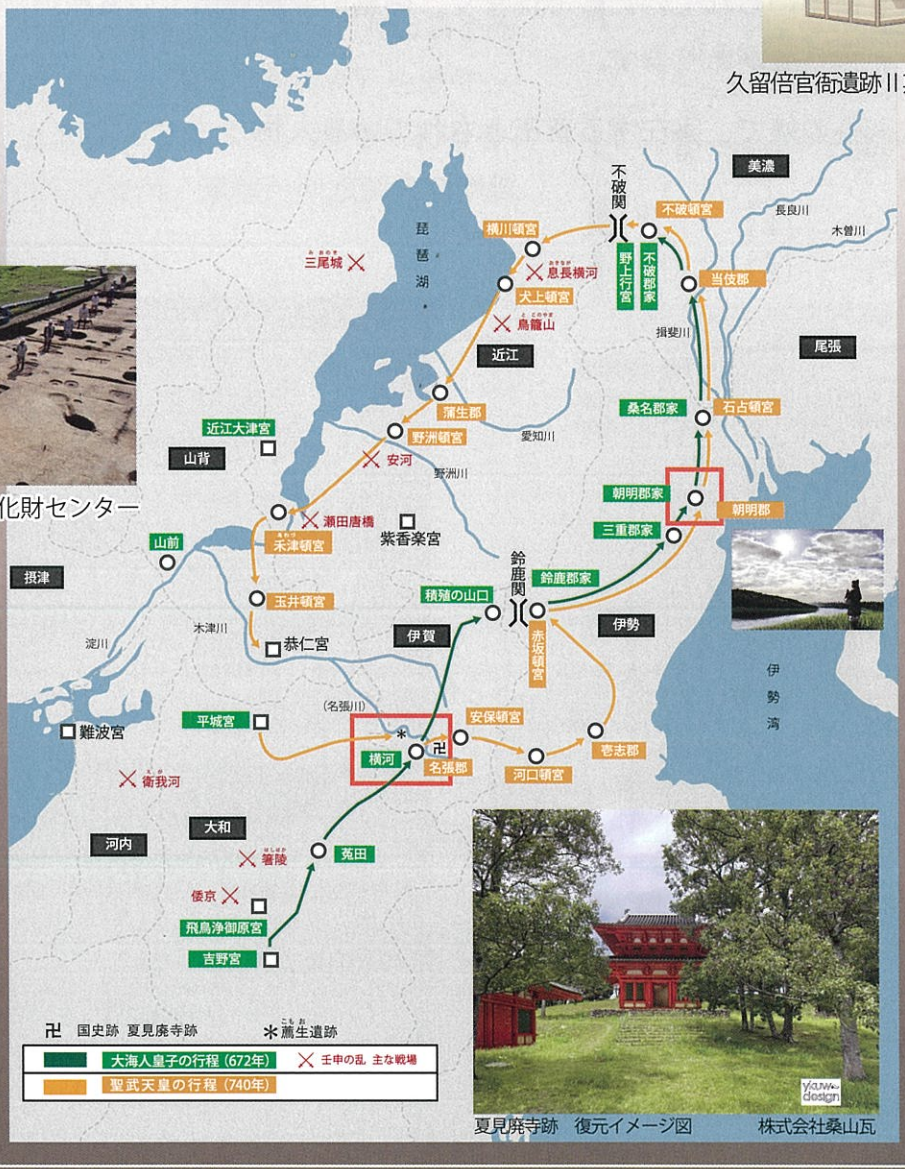
近年、名張川のほとりの薦生遺跡で長大な建物跡が発見されました。

久留倍官衙遺跡のⅡ期（８世紀中頃～後半）の長大な建物と同様に大変大きな方形の柱穴をもつ特徴があり、また、聖武天皇の東国行幸の経路上に位置することで、類似性が注目されています。



久留倍官衙遺跡Ⅱ期 長大な建物の想像図

薦生遺跡 三重県埋蔵文化財センター



夏見廃寺跡　復元イメージ図　株式会社桑山瓦

令和５年度 久留倍官衙遺跡まつり
国史跡 夏見廃寺跡連携ＸＲ企画

ゆかりの地をつなぐ
～四日市・名張～

日時　令和５（2023)年 11 月 11 日（土）
企画　四日市市シティプロモーション部　文化課
発行　令和５（2023）年 11 月 11 日